

問題発見技法

1. 「問題」とは何か？

～問題を適切に発見し定義する～

堀田敬介

★内容は主に

『齋藤嘉則「問題発見プロフェッショナル」ダイヤモンド社(2001) 第1, 2章』

『大貫章「小集団ブレイン・ストーミング」中央経済社(1983.3)』

をもとに構成

1.問題とは何か？

「**問題**」とは何か？

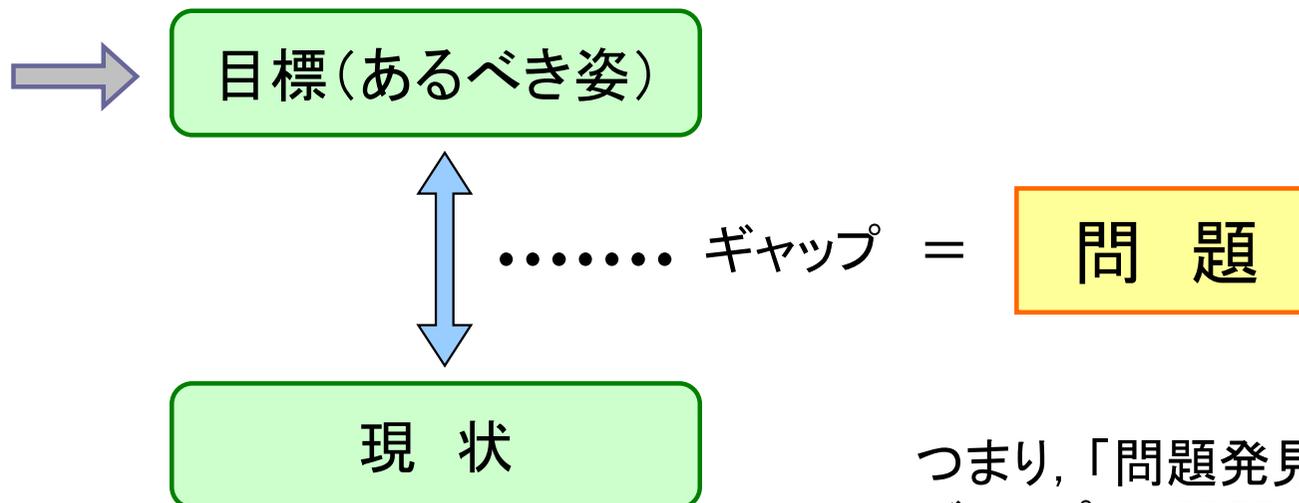
「**問題**」というものを「**定義**」してみよう

1. 問題とは何か？

- 「問題解決は目標の設定、現状と目標との間の差異の発見、それら特定の差異を減少させるのに適当な、記憶の中にある、もしくは探索による、ある道具または過程の適用という形で進行する。」

ハーバート A.サイモン『意思決定の科学』(1979)

※到達可能な目標



つまり、「問題発見」とは、このギャップ(=問題)の**根本原因**を探しあてること

1. 問題とは何か？

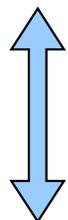
- 例1 「問題発見技法」の内容を理解する

※到達可能な目標



目標(あるべき姿)

授業内容を理解し, 消化し,
発展させていく自分



..... ギャップ =

問題

現 状

授業内容が理解できず,
やる気がなくなっていく自分



1. 問題とは何か？

Tips!

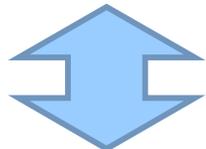
当を得た(とうをえた)...道理にかなっている。(広辞苑)

的を射た(まとをいた)...物事の肝心な点を確実にとらえる。(広辞苑)

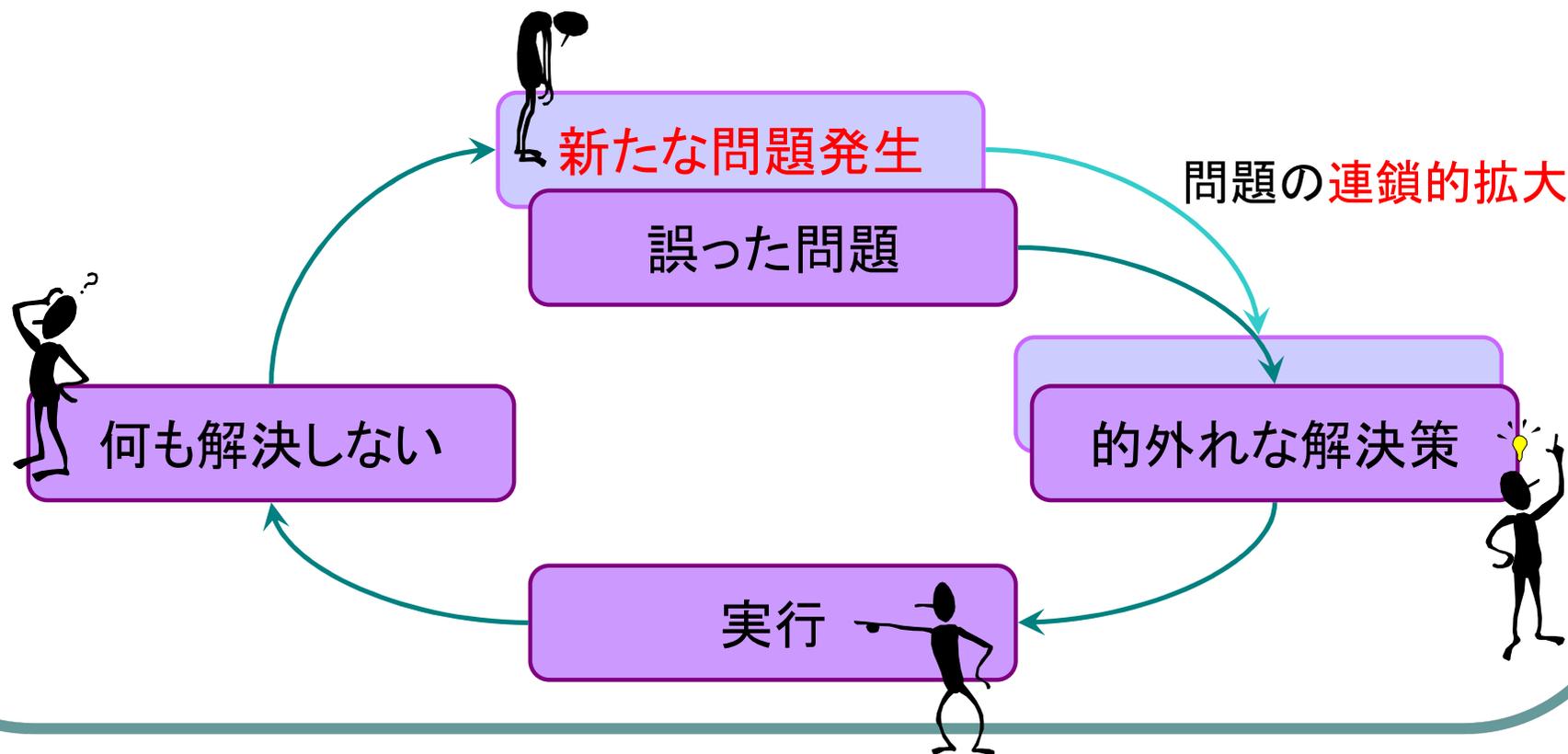
的を得た(まとをえた)...一般に上記どちらかの誤用とされるが、的は「射的」ではなく「正鵠」が語源という理由から、誤りとは言えないという説もある模様

cf. 正鵠を得る...核心をつく。「正鵠を射る」とも。(広辞苑)

- 的を射た問題設定, 問題の明確化 → 解決策の精度向上



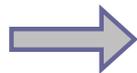
- 誤った問題設定 → 資源の浪費, 新たな問題の連鎖的拡大



1. 問題とは何か？

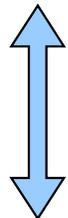
- 例2 「問題発見技法」の内容を理解する

※到達可能な目標



誤った目標

単位をとる



..... 誤ったギャップ = 誤った問題

現 状

授業内容が理解できず、やる気がなくなっていく自分。



演習

● 問題を発見しよう

- **例題**:「朝起きてから夜寝るまでの、各自の一日の生活について、「目標」と「現実」を書き出し、そのギャップ(=問題)を発見・明確にしよう」

注) 平日, 休日, 特定の曜日など, 対象とする日を絞って考えよう

- **例**:

目標(あるべき姿)	毎日朝7時に起床し, 朝食を <u>しっかり</u> 食べる
⇕	
現 状	日によって <u>起床時間が違い</u> , 朝食は <u>取ったり取らなかったり</u>